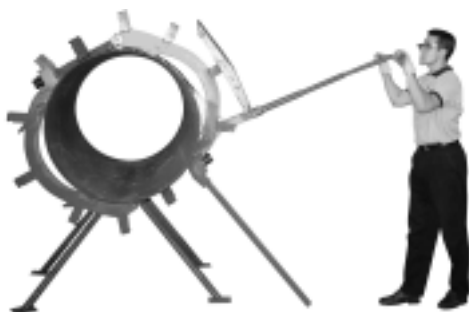




Tighten feed screw



RC30S in use.

1. 赤い三角形のサドルをパイプのカットしたい場所からおおよそ100mm (4インチ)程離れた場所に設置して下さい。(その時サドルがパイプの横に残っている事を確認して下さい。) サドルはチェーンによって安全を保持されている状態にして下さい。

※サドルはカッターにラチェットの効果をもたらします。サドルは迅速なカッティングの為にラチェット効果を可能にすると同時にトルクアームによってハンドルの保持とラチェット効果が同じ場所で行われるのを可能にします。

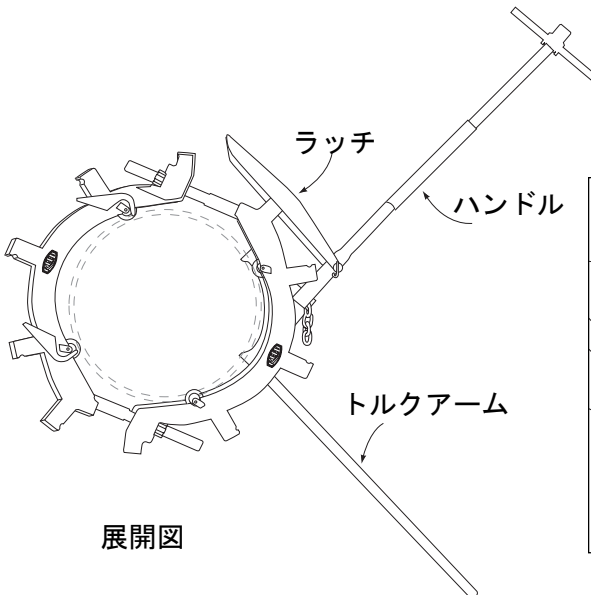
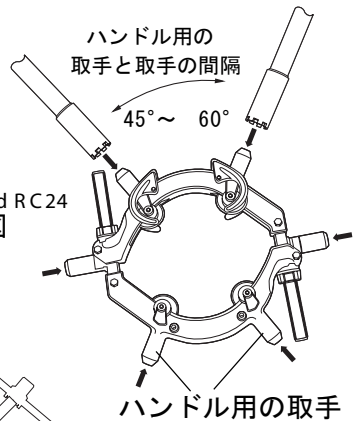
2. トルクアームを三角形のサドルに取りつけて下さい。パイプが固定されている事と黒いボルトとナットがレンチによって完全に締め込まれている事を確認して下さい。
3. 上部のヨーク (ガイド付の方) をパイプのカットしようとするラインに刃を合わせる形で固定して下さい。上部のヨークの外側の取っ手の溝は三角形サドルのハンドルと向き合う様にして下さい。
4. 下部のヨークはスロットにネジを滑り込ませゆりかご式にナットを嵌め込んでいく事により上部のヨークの一端に接続して下さい。
5. ハンドルの末端のスティールピンをサドルの孔に挿入する事によりラチェットハンドルを三角形のサドルに接続して下さい。(この時、他のハンドルスティールピンがカッターの構造に対して交差する形をとっている事を確認して下さい。) ハンドルにワッシャーとコッターピンが繋がれている状態にして下さい。

- 6 赤いラッチをラチェットハンドルのピンに接続して下さい。ラッチに他のワッシャーとコッターピンが繋がれている状態にして下さい。
- 7 ラッチハンドルはラッチ自体の左側と三角形サドルの右側に密着している状態でなければなりません。
- 8 ラッチが“ノブ”を掴むまで持ち上げて下さい、その後、引き下げて下さい。
- 9 “8”の動作を繰り返しカッター本体がパイプを半回転した後、ソケットハンドルを使い黒いナットを締め付けて下さい。ナットは毎回最大限締め付ける様にして下さい。



ご注意：御使用の際は目を保護する為の適切なメガネなどをご着用下さい。

RC20 and RC24
展開図



展開図

